

令和5年度 十日市場保育園評価報告書

1、保育園における自己評価の記録

月	自己評価
4	昨年度保護者アンケートに基づく改善内容
1	保護者アンケートの内容検討
2	保護者アンケート実施
3	保護者アンケート集計報告、職員の自己評価実施、職員の自己評価集計報告
4	総括的な自己評価

2、評価結果

(1) 本年度の保育目標の実現状況 <保護者アンケートの結果を踏まえた評価>

保護者アンケートと職員の自己評価を実施した。その結果、保護者の95.8%が保育方針や保育目標に沿って保育が行われていると評価している。また、保育教諭の94.4%も保育方針や保育目標に沿った保育を行うことができていると評価している。これらの結果を踏まえ、保育方針や保育目標は概ね達成できたと捉えることができる。

(2) 総括的な評価結果

<成果>

①子ども達の人権、プライバシーを守る保育、子ども同士の関係づくりを大切にしている保育、個の成長と子ども相互の関係や共同的な活動が促されるように配慮した個別計画を作成している、アレルギーや安全な環境整備、食育の意図を理解して、事故防止に対しては、90%以上達成できている。保護者のアンケートからもプライバシー、食育、安全面には高く評価されている。

②全体的な計画に基づき指導計画を立てている、就業規則を守り業務遂行にあたって正確・迅速・こまめな報告・連絡・相談・確認を実施している、記録を通して自らの保育実践を振り返り自己評価し改善や専門性の向上に努めている、一人ひとりの子どもの気持ちを受け止め援助している、虐待等に対する適切な対応を図っている、避難訓練の必要な対応を行なっている、保護者支援に対しては、80%以上達成できている。

③子どもの自発的・意欲的に関われるような環境を構成し乳幼児期にふさわしい体験が得られるように総合的に保育している、親子関係や家庭生活に配慮しながら援助している、指導計画は一人ひとりの発達過程や状況を十分に踏まえて作成している、幼児期の終わりまでに育てほしい姿10項目を知っている、子ども達が試行錯誤して自分の力で行う活動を見守りながら、適切に援助している、事故への適切な対応に対しては、70%以上達成できている。

<課題と主な改善策>

①専門性の向上に努める

・園内外の外部研修等で様々な保育や情報に触れる機会をとり、知識技術向上につなげる。

②情緒の安定した生活ができる環境や自己を十分に発揮できる環境作り

・既存の保育にとらわれず、今の改善策に対して少しずつ変えていく。

具体的な案を職員間で話し合う。

③園からのお便りやホームページなどによる日々の様子の見える化

・保育室ページの閲覧が50%と低かった。配信日のお知らせや配信場所を検討する。